



赤江地域自治区 地域協議会だより

第 25号 平成 26 年 12 月
発行 地域協議会事務局
宮崎市役所赤江地域センター
電話 51-4274

『 赤江地域自治区分割が可決されました 』

平成 26 年 11 月 18 日 第 5 回赤江地域協議会定例会が開催されました。

出席者 23 名により赤江地域自治区を赤江地域と本郷地域とに分割することについて、採決が行われました。21 名の賛成があり、総委員（25 名）の 3 分の 2 以上となり、赤江地域自治区を分割することが可決されました。

この議決を受けて、赤江地域協議会は「地域自治区分割の意見書」を宮崎市に提出することになります。12 月 19 日（金）に第 6 回赤江地域自治区地域協議会臨時会を開催し、「地域自治区分割の意見書」の策定を行います。意見書を作成後、市長に提出します。

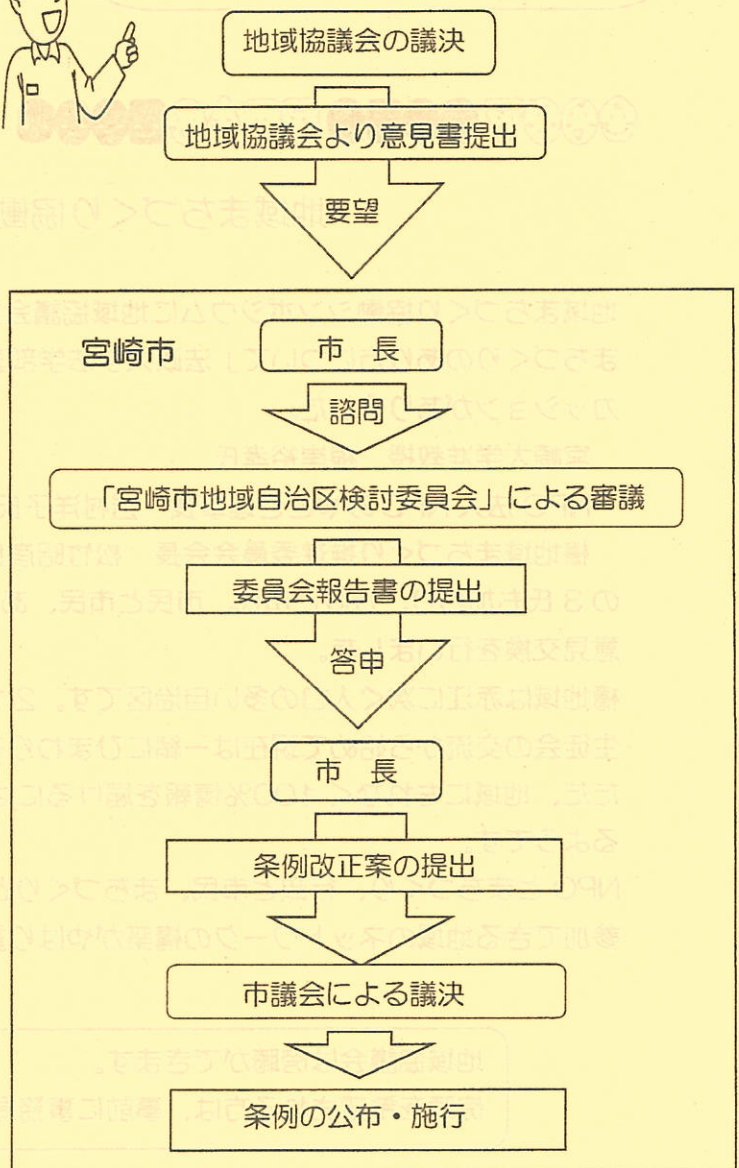
市長は意見書を受けて分割の是非について諮問するため、「宮崎市地域自治区検討委員会」を設置し、検討委員会での審議が開始されます。

分割することの必要性、問題点の有無などが検討された後に、市長は答申を受けます。

分割が妥当との答申であれば条例改正案の提出、宮崎市議会の議決を経て、条例の公布、施行となります。



分割について今後の流れ





分割した場合の地域概要 (平成 26 年 4 月現在)



赤江地域

- 人口 約 32,000 人
- 自治会数 58 自治会
- 小学校及び生徒数
 - 赤江小学校 761 人
 - 恒久小学校 528 人
 - 宮崎南小学校 733 人
- 中学校
 - 赤江中学校 467 人
 - 赤江東中学校 318 人
- 公立公民館
 - 赤江公民館
 - 赤江東地区交流センター
- 福祉施設
 - 赤江老人福祉センター

本郷地域

- 人口 約 24,000 人
- 自治会数 44 自治会
- 小学校及び生徒数
 - 国富小学校 862 人
 - 本郷小学校 793 人
- 中学校
 - 本郷中学校 685 人
- 公立公民館
 - 本郷公民館
- 福祉施設
 - 南部老人福祉センター



地域まちづくり協働シンポジウム

地域まちづくり協働シンポジウムに地域協議会委員の 6 名が参加しました。「住民自治のまちづくりのあり方について」法政大学法学部教授名和田是彦氏の講演後にパネルディスカッションがありました。

宮崎大学准教授 根岸裕孝氏

NPO 法人 NPO みやざき理事長 岩村洋子氏

憶地域まちづくり推進委員会会長 松竹昭彦氏

の 3 氏も加わり、行政と市民、市民と市民、あらゆる協働について意見交換を行いました。

憶地域は赤江に次ぐ人口の多い自治区です。2 つの中学校があり、

生徒会の交流から始めて現在は一緒にひまわりを育てる活動などを行っているそうです。

ただ、地域にもれなく 100%情報を届けるにはどうすればいいのかは、課題となっているようです。

NPO とまちづくり、行政と市民、まちづくりと学校の協働など、子どもから高齢者まで参加できる地域のネットワークの構築がやはり重要だということを感じました。



地域協議会は傍聴ができます。

傍聴を希望される方は、事前に事務局に申し込みをお願いします。